

【2020年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名		ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
福祉心理学専門演習Ⅱ			必修	2	3	後期
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
齊藤 晋治 他		B308	s-saito		水曜・木曜 12:10～13:00	
授業の目的・概要	<p>&lt;目的&gt; 社会福祉を取り巻く社会状況、社会環境について理解するとともに、専門職の専門性について理解する。社会福祉に関する文献、研究論文を通して、社会福祉政策や社会状況が抱える課題を整理する。 &lt;概要&gt; 毎回発表者を決め、レジュメによるプレゼンテーションを行う。</p>					
学習上の助言	論文検索の方法等を理解しておくこと。					
教科書	指定なし					
参考書	授業の中で論文等を随時紹介する。					
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針	
①	社会福祉に関する社会状況が理解できる。				社精(1)(2)	
②	社会福祉に関する社会状況について問題意識を説明できる。				社精(1)(2)	
③	社会福祉に関する問題意識を深め、推論を組み立てることができる。				社精(1)(2)	
④						
⑤						
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)			
1	授業オリエンテーション、授業概要の説明を受け、学習方法を理解する。	登校型授業 講義	レジュメの復習		4	
2	キャリアデザインについて考える①(新型コロナウイルス下における経済状況、医療・福祉業界の状況把握)	登校型授業 講義・演習	レジュメの復習、レポート作成		4	
3					4	
4	問題意識の明確化と先行文献調査をおこなう。	登校型授業 発表・討論	論文の検索、レジュメの復習		4	
5					4	
6	キャリアデザインについて考える②(業界研究、自己分析、自己表現)	登校型授業 講義・演習	レジュメの復習、レポート作成		4	
7					4	
8	先行文献から深めた内容のプレゼンテーションの作成を行う	登校型授業 演習	論文の検索、レジュメの復習 発表・討議の準備を行う		4	
9					4	
10	専門領域に関するプレゼンテーションを実施する。(社会福祉学の魅力を後輩に説明できる)	登校型授業 発表	発表・討議の準備を行う		4	
11					4	
12	研究領域のレポート作成と中間報告を実施する。	登校型授業 演習	論文の検索、レジュメの復習		4	
13					4	
14	レポート作成とプレゼンテーションを実施する。 まとめ	登校型授業 演習	論文の検索、レジュメの復習 レジュメの見直し		4	
15					4	
試						

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	70	30	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	0	20	0	0	0	20
	思考・推論・創造する力	0	30	0	0	0	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	20	0	0	20
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	10	10	0	0	20
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	0	10
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	社会福祉の現状についての理解、その要因、問題意識、仮説が理論的に考えられ、まとめることができているかその理解度、表現、推論の内容等を評価する。				講義の際に、添削指導をおこない返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	プレゼンテーション技術・報告の内容について評価する。レジュメの内容、仮説の根拠、論理性についての理解度を問う。				プレゼンテーションに対するコメントを発表後の時間におこなう。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>なお、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもある。                      全 15 回が登校授業（対面授業）であるため、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。その場合、授業は欠席として取り扱う。</p> <p>社会福祉専門職を目指す者は、いずれかの教員のクラスに所属すること。</p> <p>担当教員：◎齊藤 晋治、梅沢 佳裕、古川 奨、渡邊 隆文</p>							